

山小屋に持って行きたいものを話し合おう

阪南市立桃の木台小学校

教科 国語 単元名 山小屋で3日間すごすなら

本時のねらい

・山小屋に持っていきたいものをグループで話し合い、出た意見を分類しながら、考えをまとめることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・シンキングツール「ベン図」を活用し、自分の意見と友だちの意見を比較することで、話し合いを焦点化することができる。
- ・「共有ノート」上で画面を共有しながら話し合ったり入力したりすることで、それぞれの意見を1枚の画面上に反映させることができる。

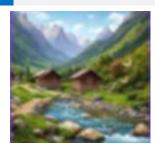
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ ロイロノートスクール ・プロジェクタ ・スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	 ○本時の学習のめあてを確認する。 山小屋に持っていきたい5つの道具をまとめ、発表しよう。 ○話し合いの目的や条件を確認する。 ・場所 山小屋 ・期間 3日間 ・目的 ふだん子どもだけではできないことをする。 しぜんとふれ合う。 ・持ち物 食料、水、きがえ以外にグループで5つまで 	・山小屋の雰囲気をつかめるよう、画像生成 AI に 条件を入力して作成した画像を提示する。 【写真 1 】
展開 (35分)	 ○シンキングツール「ベン図」を用いて話し合い、グループでしたいこと全てを達成できるように道具 5 つを決定する。 【写真 2】 ○決定したグループは、ロイロノートスクールのシートに「山小屋でしたいこと・持っていきたい道具・その理由」を記入して提出する。 ○山小屋でしたいこと・持っていきたい道具・その理由を黒板に提示し、金体で発表する。 	を指導しておく。 ・5つの道具が決まった経緯や、その道具を選んだ理
まとめ (5分)	全体で発表する。 【写真 3 】 〇グループで話し合ったベン図を見て、それぞれの道具を選んだ理由や 選ばなかった理由について考える。	由を追質問し、どんな話し合いをグループで行った のか児童が説明できるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真 1 】 画像生成 AI で作成した山小屋の画像



【写真 2 】 5 つの道具についてグループで話し合うようす



【写真3】 スクリーンに提示した資料について発表するようす

児童生徒の反応や変容

- ・タブレット端末を持ち帰り、山小屋に持っていきたいものとその理由を考えてシートに入力してくることで、話し合いにおいて自分の意見を自信をもって 話すことができた。
- 話し合いながらベン図上のシートを移動させ、グループの考えをまとめることができた。

授業者の声~参考にしてほしいポイント~

- ・ベン図を用いて考えを整理することで、持ち物の用途を工夫したり、取捨選択したりすることができていた。
- ・視点を定め、考えを整理するために、ベン図は有効であったが、3つの円で考えるのは難しく、ペアで話し合ったグループの方がスムーズだった。